

報道関係者の皆様へ



雲南市

情報提供

令和7年10月6日(月)

担当課 (担当者)	市民環境部 環境政策課 (内田・松蔭)
電話	0854-40-1033
FAX	0854-40-1039

Press Release

送付文書 2枚

開催日: 10/7 (火)

雲南市内公共施設 約 500 施設の電力契約を「うなん共創エネルギー」に切替
記者発表会の開催について

本件のポイント: 地域新電力会社「うなん共創エネルギー」が 10 月から電気の小売り事業をスタート!
今後展開する再エネを活用した電力事業について記者発表を行います。

内 容

日 時: 令和7年10月7日(火) 11:30~12:00

(脱炭素社会実現のための共創による

地域づくりの推進に関する連携協定締結後に実施予定)

場 所: 雲南市市役所 5 階全員協議会室

参加者: 雲南市、株式会社うなん共創エネルギー

内 容: 雲南市は、2025 年 10 月より、市内の公共施設約 500 施設の電力契約を、
地域新電力会社「株式会社うなん共創エネルギー」(代表取締役: 中嶋^{なかしま}
^{たかふみ}崇史)に順次切り替えます。

本取り組みは、「雲南市脱炭素実現計画」に基づき、市民・地域事業者・行政が
一体となって進める「エネルギーを手段とした持続可能なまちづくり」の一環とし
て実施するものです。

■ 取り組みの概要

切替開始時期: 2025 年 10 月より順次

対象施設数: 約 500 施設(本庁舎、学校、保育園、交流センター等)

供給事業者: 株式会社うなん共創エネルギー

■ 特徴

- ・市内に設置される太陽光発電設備からの再生可能エネルギーを中心に供給
- ・電力料金の一部を地域還元（地域課題解決や脱炭素活動支援へ活用）
- ・エネルギーの地産地消による地域内経済循環の促進及び雇用創出

■ 背景と目的

雲南市は、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、地域資源を最大限に活用した地域主導型の脱炭素社会づくりを進めています。

その中核となる「うなん共創エネルギー」は、行政・民間が協働で設立した地域新電力会社であり、電力事業やその収益を活用し、雲南市の暮らしや経済に貢献することを目的にしています。

今回の公共施設約 500 施設の電力契約切替は、地域でつくった電気を地域で使う「エネルギーの地産地消」を本格的に進める大きな一歩となります。

■ 今後の展開

今後は、市内民間施設や家庭への電力供給拡大を視野に、地域全体での再エネ活用を進めていきます。

雲南市と(株)うなん共創エネルギーは、市民一人ひとりが関わる形での脱炭素社会の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

■ 参考情報

(株)うなん共創エネルギーとは

2025年4月 1 日設立。雲南市も出資し、雲南市の「脱炭素」と「エネルギーの地産地消」のために設立された地域新電力会社。雲南市と 2025 年 4 月 8 日付けで連携協定を締結。市民、事業者、行政と共創を通じて、持続可能なまちづくり（暮らしの豊かさ、災害への備え、地域経済循環など）に貢献することを目的に、今後、再生可能エネルギーを中心とした電力供給を行う予定である。

■ 本件に関するお問い合わせ先

雲南市 市民環境部 環境政策課 内田、松蔭

TEL:0854-40-1033

E-mail: kankyo@city.unnan.shimane.jp

株式会社うなん共創エネルギー

TEL:0854-51-0011

E-mail: info@unnan-energy.jp



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市